

I. 現状と課題

歩崎地域に関する定量分析のまとめ

■ 観光に関するマクロ動向

- ・ 旅先決定の際の重視事項は、「食」「場」「癒し」「学び」
- ・ 重視する情報収集ツールは「Webサイト」「旅行雑誌」について、「自治体・観光協会のHP」

■ かすみがうら市、歩崎地域における観光の実態

- ・ 来訪者は、近隣自治体（土浦市、つくば市、小美玉市等）や東京都、千葉県、埼玉県等の関東圏が上位
- ・ 車での来訪が多く、特に水族館は子連れ家族が多い
- ・ 交流センター来訪者は広域的に、博物館・水族館来訪者は市内回遊の傾向
- ・ 歩崎地域のイメージは「自然豊かな地域」が主。その他、「自転車」「歴史、文化」「癒し」など
- ・ 「湖上体験」へのニーズが最も高く、次いで「食体験」、「自然体験」。交流センターでは「リラックス体験」、博物館では「歴史・文化体験」、水族館では「知育体験」もニーズあり



関係者会議、関係施設ヒアリングでのご意見等まとめ

■ 関係者会議での主なご意見

- ・ ポテンシャルの高い地域だが、地元の人が地域資源を良く知らない
- ・ 各主体同士、地域間の連携強化
- ・ ストーリー性、テーマ性を付与した地域資源のブラッシュアップ
- ・ ターゲットを明確にした観光プログラムの検討
- ・ SNS等による歩崎地域の情報発信の強化

■ 関連施設ヒアリングで明らかとなった課題

- ・ 案内看板やトイレをはじめとする観光関係設備の整備
- ・ 施設運営スタッフ等をはじめとする観光人材の育成・充実
- ・ 宿泊に寄与するコンテンツの検討
- ・ 観光プログラムと連携した施設活用方策の検討
- ・ 地域内の連携充実
- ・ 地元の人々の郷土愛の醸成

定量的なデータと関係者の方々からのご意見を踏まえ、以下の6つの取り組みの方向性を検討

1.
集客のための仕
組みづくり

2.
観光商品の
開発

3.
「食」資源の
充実・活用

4.
おもてなしの向上

5.
推進体制の
整備

6.
プロモーションの
強化